

# 学生に就活アドバイス

静岡文化芸術大で 新聞活用術も紹介  
企業と本社担当者

静岡新聞社は10日、浜松市中区の静岡文化芸術大で、大学1〜3年生を主な対象にした「静岡新聞就活塾」を開いた。学生13人が、エントリーシート(ES)の作成や面接で気をつけるポイントや、新聞の読み方と活用方法を学んだ。

担当者は3人が講師を務め、「ESでは努力して成功した過程を書いて」「面接ではスピーチよりもトークを、笑顔でできると印象が良い」などとアドバイスをした。

静岡新聞社・静岡放送浜松総局の担当者は、見出しや記事の概要をまとめた「リード」について説明しながら新聞の読み方を分かりやすく伝えた。「採用試験のあらゆる場面でニュースの知識や意見が問われる。常日頃から新聞で情報収集を」と呼び掛けた。

文化政策部3年の浅井季都さん(21)は「人事担当者の本音が聞けて参考になった」と話した。



学生に就職活動のアドバイスをする企業の人事担当者(右)＝浜松市中区の静岡文化芸術大